

令和7年2月秋田市議会定例会一般質問者順序

フロンティア秋田 佐藤 哲治

秋水会 佐藤 宏悦

市民クラブ 安井 誠悦

1 市長の政治姿勢について

- (1) 物価高騰により生活が非常に困窮している市民が多くいるが、現在どのような支援を実施し、今後どのような支援が必要と考えているのか、また、継続的に物価高騰対策を行うよう国に働きかける考えはないか
- (2) 市長就任以降、自身の給与を削減しているが、これまでの削減金額は幾らか、また、どのような思いで給与を削減してきたのか
- (3) 子どもを産み育てやすい環境づくりについて
 - ア 保育料の完全無償化を早急に実施すべきではないか
 - イ 学校給食費の無償化を早急に実施すべきではないか
- (4) 高齢化や人口減少が進む河辺地域において、市長は、どのようなまちづくりを描いているのか

2 終活支援について

- (1) 誰もが安心して老後を過ごし、満足できる形で最期を迎えられるよう、終活支援の相談体制を構築すべきではないか、また、そのために終活支援条例を設定する考えはないか

3 空き家対策について

- (1) 本市における空き家の現状と課題はどうか
- (2) これまで実施してきた空き家対策の成果をどう捉えているのか、また、今後、どのような対策を講じていくのか

4 地域医療について

- (1) 市の財政支援により秋田大学医学部附属病院が導入した移動診療車の今後の運用について、市としてどのような働きかけを行っていくのか、また、市民に対してどのように周知していくのか

5 人口減少・少子高齢化について

- (1) 人口減少や少子高齢化が著しく進んでいる秋田県の県都として、これまでどのような対策を講じてきたのか、また、その成果はどうか

6 子育て・教育環境の充実について

- (1) 子どもの安全確保のため、早急に寺内保育所を建て替えるべきと考えるがどうか
- (2) 子ども食堂に対して早急に支援を行うべきではないか
- (3) 不登校児童生徒への支援の現状はどうか、また、今後の支援の在り方についてどのように考えているのか
- (4) 本市小・中学校におけるいじめの現状はどうか、また、どのような対策を講じているのか
- (5) 中学校教育において、ダンスが必修化され10年以上たつが、これまでの成果をどのように捉えているのか、また、ダンスの経験がある教職員が不足していると考えるが、今後、どのように対応していくのか

7 安心安全な市民生活について

- (1) 市民への安定した米の供給のため、J A等と連携し、市独自に米を備蓄する考えはないか
- (2) 買物難民が増加していると考えるが、今後、どのような対策を講じていくのか
- (3) 水害を未然に防ぐため、県管理河川である岩見川及び梵字川の堆積土砂等への対応について、県に働きかけてはどうか
- (4) 令和6年4月の介護報酬改定により、訪問介護サービスの介護報酬が引下げとなったことから、訪問介護事業から撤退する事業者が出てきているが、どのように認識しているのか、また、市民が安心して介護サービスを受けられるよう、市としてどのように取り組んでいくのか

8 市職員の待遇改善について

- (1) 市職員の給与が、県職員及び県内民間従業員の給与より低い水準で推移しているが、同じ水準まで引き上げる考えはないか
- (2) 令和7年度以降も、寒冷地手当を秋田市全域で働く職員に支給すべきと考えるがどうか
- (3) 会計年度任用職員の家族看護等休暇について、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めるため、有給化する考えはないか

9 秋田市カスタマーハラスメント防止条例について

- (1) 顧客等による過度な要求や暴力的な行為などから就業者を守るため、秋田市カスタマーハラスメント防止条例を設定する考えはないか

10 条例の点検について

- (1) 時代に合った条例となるよう、4年に1回条例の内容を点検し、必要に応じて改正を行う考えはないか

1 新スタジアムの整備等について

(1) 面積及び規模等について

ア 外旭川地区よりも十分な面積を確保するのが困難な八橋運動公園内に整備しようとする理由は何か

イ 同公園内に1万人規模の新スタジアムを整備することは、本当に可能なのか、また、施設規模について、5,000人以上を基本としているが、1万人規模とした場合、半数近くは立ち見席となるのか

ウ 新スタジアム及び第2球技場等の代替地の整備費用は、物価高騰により、掛かり増しになると予想されるが、市民への理解をどのように求めていくのか

エ 同公園内に整備した場合であっても、外旭川地区まちづくり基本計画で示していた新スタジアムのコンセプトを継承していくのか

オ 同公園内に整備した場合における周辺地区の経済効果をどの程度と見込んでいるのか

(2) 駐車場及びアクセスについて

ア 八橋運動公園内に整備した場合、駐車場が大幅に不足すると考えられるが、どのように対応するのか

イ 文化会館跡地に駐車場を整備した場合、全額本市が負担することになるのか、また、市民への理解をどのように求めていくのか

ウ 駐車場及びアクセスの面から見て、外旭川地区のほうが好環境であるにもかかわらず、同公園内に整備しようとする理由は何か

(3) 環境調査について

ア 騒音や光害など、八橋運動公園内に整備した場合における周辺の環境調査は行っているのか

イ 同公園内の地盤調査は行っているのか、また、その結果はどうか

(4) 費用負担等について

ア 本市が主体となって整備を進めようとする理由は何か、また、市民への理解をどのように求めていくのか

イ 物価高騰により、整備費用が掛かり増しになった場合においても、
県、市、ブラウブリッツ秋田の三者の費用負担割合に変更はないの
か

ウ 本市は、整備にかかる財源をどのように確保していくのか

エ ブラウブリッツ秋田は、整備費用をどの程度負担できるのか

オ 新スタジアムの整備計画を見直す、あるいは白紙に戻す考えはな
いか

2 外旭川地区のまちづくりについて

(1) 新スタジアムの整備地を八橋運動公園内に決定したことによる同地
区のまちづくりへの影響をどのように考えているのか

(2) 新スタジアムを八橋運動公園内に整備することについて、事業パー
トナーのイオンタウン株式会社の理解は得られているのか

(3) 事業パートナーから、今後も同地区のまちづくりに関わっていくこ
との合意を得ているのか

(4) 同地区のまちづくりについて、もう一度時間をかけて議論すべきで
はないか

3 卸売市場の再整備について

(1) 同市場がこれまで果たしてきた役割について、どのように考えてい
るのか

(2) 概算事業費が大幅に上昇することにより、市場使用料の大幅な上昇
も見込まれるが、市場内事業者への理解をどのように求めていくのか

(3) 市場使用料に見合った整備手法を検討すべきではないか

4 農業振興について

(1) 令和7年度は、スマート農業の推進に加え、6次産業化や農商工連
携などによるアグリビジネスの拡大に取り組むとしているが、その具
体は何か

(2) 学校給食における地産地消について

ア 規格外の地元食材を積極的に学校給食で活用すべきと考えるがどうか

イ 規格外の食材であっても、規格品と同等の価値があるとの教育を積極的に行うべきと考えるがどうか

(3) 小規模農家に対し、スマート農業を普及するための機会を増やしてはどうか

(4) 令和4年度に実施した農業経営収入保険加入促進事業について、令和7年度以降も実施してはどうか

(5) 農業農村整備事業等について

ア 同事業の進捗状況及び課題はどうか

イ 事業母体である各土地改良区では、統合整備基本計画に基づいて統合を推進しているが、その現状及び課題はどうか

ウ 各土地改良区では、女性理事の登用率10%以上を目標としているが、その現状及び課題はどうか、また、本市は、その目標達成に向け、どのように関わっていくのか

エ 地域の農業者などの話し合いを経て、地域農業の将来の在り方を明確化させる地域計画の推進状況はどうか

(6) 女性農業者について

ア 女性農業者の現状及び課題はどうか

イ 女性農業者が、農作業や農地の相続などの悩みを相談するための窓口を本市に設置してはどうか

(7) あきたこまちRについて

ア あきたこまちRへの理解を深めるための取組を推進すべきと考えるがどうか

(8) J-クレジット制度について

ア 同制度の普及啓発を行うべきと考えるがどうか

5 相撲振興について

(1) 本市における相撲振興の現状、課題及び将来展望はどうか

(2) 大相撲の地方巡業を誘致してはどうか

(3) 八橋運動公園内の相撲場の利用率はどうか、また、新スタジアムを同公園内に整備した場合、相撲場とその周辺を健康広場の代替地としているが、相撲場を新たに整備する考えはあるのか

1 新時代のスタジアム等について

- (1) 八橋運動公園は、県立体育館（新アリーナ）をはじめ、陸上競技場、野球場、テニスコートなどの様々なスポーツ施設が集積するとともに、多くの市民が憩い集う公園としての機能を併せ持っているが、新スタジアムを整備することによって同公園をどのように位置づけるのか、また、新スタジアムのビジョンをどのように描いているのか
- (2) ブラウブリッツ秋田のJ1クラブライセンスは、新スタジアムの整備が要件となっている中で、既存施設の改修ではライセンスを失うおそれがあるが、どう考えているのか
- (3) Jリーグは、来シーズンから夏がオフとなる「秋春制」に移行することを決定しているが、本市の夏の涼しい気候を利用し、Jリーグチームのキャンプを誘致することにより、本市経済の活性化やスポーツ振興につなげる考えはないか

2 中心市街地の活性化について

- (1) 1980年代に調査・研究された秋田都市モノレール等の計画を見直し、中心市街地活性化の起爆剤として、秋田駅から中心市街地、市役所本庁舎、新スタジアムを經由して臨海十字路までの区間を、自走式ロープウエー「Zippar」で結ぶ新交通システムの導入を検討してはどうか

3 上下水道の安全性について

- (1) 本市において、下水道管の老朽化等により道路陥没が起こるおそれはないのか、また、その点検及び修繕・更新等の現状はどうなっているのか
- (2) 有害性が指摘される有機フッ素化合物（PFAS）が岡山県内の浄水場から検出され、公費による血液検査を実施しているが、本市の上下水道から同化合物が検出される懸念はないのか

4 自殺対策について

- (1) 自殺未遂者対策として、自殺未遂者を救急搬送後、精神科につなげるために運用している自損患者診療状況シートの活用状況はどうか、また、これまで蓄積してきた貴重なデータを、今後の自殺対策にどのように活用していくのか